$\blacksquare$ 

じるだけでも信用問題に であり、少しのズレが生 ジはいわば商品の「顔」 みしてしまう。パッケー

く続き、技術継承などの 課題も浮上していた。そ

つながりかねない。

フジコーは本社工場で

討し、2019年に設備

フジコ

や湿度に影響されやす る軟包装材は周囲の温度 開している。メインはト 業だ。これら商品で用い などのパッケージ印刷事 日常生活で見かける商品 向け生理用品をはじめ、 イレットペーパーや女性 を生かした各種事業を展 得意のグラビア印刷技術 く、少しの変化で伸び縮 フジコー(香川県丸亀

## 一部 生産革新・脱炭素社会への挑戦

## こで同事業の見直しを検 トポンプチ インバーター式

同事業を手がけていた

が、旧態依然の体制が長

より、年間をプチラー」に 式ヒートポン「インバータ 通じて高い運 時期だけ使用 転効率を実現 、1年で半

い時期は温水を供給し、

蒸気加熱とのハイブリッ

できた。冷水を使用しな

げた。インバーター制御 ド方式で省エネにもつな

方式のため、年間を通じ

課長は成果に胸を張る。

軌

フジコーは環境対策や

(火・木曜日に掲載

て高い運転効率となり、

## 稼働率安定、コスト26~ 減

熱費も増えてしまった。 量を増加できたものの光 投資を行った結果、生産 印刷工程では乾燥用空 ーを使用していた。しか ・湿度維持において、 気や同製造エリアの温度 気ボイラや冷却専用チラ 蒸 分程度しか稼働できなか ったことが要因だ。

量=585½ (21年実績)材、剝離紙・剝離フィル

材、剝離紙・剝離フィルム▽年間CO2排出11▽主要生産品目=家庭紙・衛生用品包装

西町南甲284の2、0877・28・61【事業所概要】▽所在地=香川県丸亀市川

外気温の高い きが生じた。 熱費のバラつ め、年間で光 停止させるた 冬季に稼働を し同チラーは る高いエネルギー効率の 能で、ヒートポンプによ 温水供給の切り替えが可 ー」を導入した。冷水・ タ式ヒートポンプチラ 省エネ・省コストを実現 備投資を行い「インバー 加熱により、従来に比べ そこで21年に新たな設 2

減。二酸化炭素(CO の年間867万円の削 定したことで、ランニン グコストは従来比26%減 設備稼働率も向上した。 このように利用率が安 排出量は同26%減の 今後は周辺の自動化も進 針を掲げ、従業員の負担 負担も軽減できた。導入 める。「オペレーターの 極的に取り組んできた。 を軽減させることには積 職場改善に力を入れる方

ちろん、温度・湿度維持 ドがアップした」と、山 より生産量と生産スピー 同210ヶを削減した。 岡智敬製造部生産技術G 管理が安定した。これに 無理やムダの削減はも める。 問題の意識改革が進ん して行っていきたい だ。要望もあるが、率先 前より、会社として環境 (山岡課長)と、力を込 (高松支局長•田中大